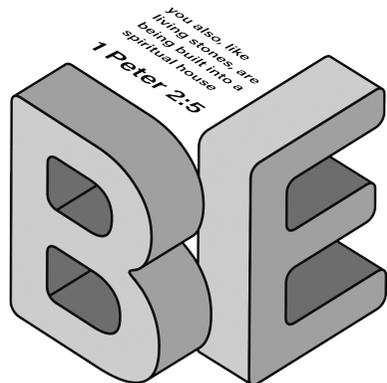


YOUTH MANNA



あなたがた自身も生ける石として霊の家に築き上げられ、神に喜ばれる霊のいけにえをイエス・キリストを通して献げる、聖なる祭司となります。
(ペテロの手紙第一 2章42節)

2025/9/29(月)

エレミヤ 6:1-15

●当時のイスラエルの指導者達は、民に安易に「平安だ」と言っていたが、問題に向き合うことはなかった。

(13、14)

●火災報知器が鳴ったら、あなたはどうするかな？報知器を止めるだけでなく、なぜ報知器が作動したのか原因を調べないだろうか。

★私達を感じる体の痛みや心の痛みには、必ず原因がある。「最近いつも痛いしな…」と痛みを放置したり、苦々しい想いを抱えたまま過ごしていないかな？もしそういった症状があるなら、神様や家の教会の友達に話してみよう。(人と話すと、考えが整理されることもあるけど、これも一つ『向き合う』ということだよ)

2025/9/30(火)

エレミヤ 6:16-30

●30節「主が彼らを捨てられたのだ」とあるね。神様は私たちを見捨てることがるのだろうか？

●神様はイスラエルを滅ぼすことにしたけれど、それは永遠に滅ぼすのではなく、彼らが立ち返って回復するためだったよ。このことが起こったのは、神様は何度も何度も語りかけて悔い改めるチャンスを与えていたけれど、彼らはわざと従わなかったからんだ。

●神様は私たちの内から悪いものを本気で除こうとされる。病人が医者のところに行くように、私たちも神様のところに行こう！神様は決してあなたを見捨てないことを信じよう！

2025/10/1(水)

エレミヤ 7:1-15

●神様はエレミヤに「主の宮の門」に立って、礼拝するために入る人々に叫べと言われた。彼らに対して「あなたがたの生き方と行いを改めよ」と言わせたのはなぜだったか。彼らは礼拝していたけれど、どんなことが悪かったのだろう。

●あなたの神様との関係、隣人との関係を振り返ろう。神様が喜ぶものとなっているだろうか。変わらなければならないところはあるだろうか。

●人生は選択の連続だ。自分の生き方と行いが御霊によるものとなるように祈ろう！聖霊があなたに力を与え助けてくださることを受け取ろう！

2025/10/2(木)

エレミヤ 7:16-34

●神様はなんで怒っていたかな？18節

●34節『この地が廃墟になる』ってどういうことかな？考えてみよう。

●この箇所は、神様が偶像礼拝にもう祈るなというほど怒っている箇所だよ。神様はいけにえの仕組みが祭司や自分のためにしていることにも怒っているよ。廃墟はなることはバビロンに滅ぼされることを指しているよ。聖書が言っている本質は神様にへりくだって従う事、思い巡らすことだよ。みことばを軽く見るといえるんなことがおかしくなってしまうよ。だから土台は神様にしっかり置こう！そして、神様と一緒に静まる時間をもてるように、その時間が守られるように祈ろう！

2025/10/3(金)

エレミヤ 8章

今日は謙遜について考えてみよう。4-7vを読んでね。

●謙遜な人ってどんな人だと思う？謙遜と遠慮の違いは？

●民は痛い経験をしてなお神様から背き続けていたね。その姿は謙遜だろうか？高慢だろうか？

●7v鳥たちさえ神の定めた季節を知っているのに、人は自分の考えに頼り神に従わないばかりか知ろうとさえしない。それを聖書は高慢だと言っているんだ。そう考えると、謙遜とは人に遠慮してしないことじゃなく、神に頼りみこころを行うことなんだね。きみが大胆に謙遜に行うべきことはなんだろう？

2025/10/4(土)

エレミヤ 9章

今日の箇所さエレミヤ、そして神様ががっかりしていることが語られて始まっている。その理由は人々が『わたし(神様)を知らないからだ』と3節に書いてあるね。神様の祝福を忘れて、神様を知ることが拒否して、自分勝手に歩いていくと私たちの誇るものの、大切なものの基準はどんどん自分中心になっていく。

でも、私たちが本当に誇りに思うことは神様から一方的に受けている愛や救いなんだ。

23.24節をもう一回読もう！神様を知り続けていくことに胸を張って取り組んでいこう！

2025/10/5(日)

エレミヤ 10章

今日の箇所さエレミヤを通してイスラエルの民たちに「異邦人の道を見習うな」と警告し、諸国の占いや天象への迷信に惑わされないよう教えています。

偶像は無力で、天地を造られた神様こそ真の主です。エレミヤは民の背信を嘆きつつ、神様のあわれみと導きを仰ぐよう呼びかけ、裁きの中にも回復の望みがあると語ります。

私たちも迷信に心を動かされず、神様に信頼して歩みましょう。